



クラウド対応 温度湿度データロガー

おんどり TR7A2 シリーズ

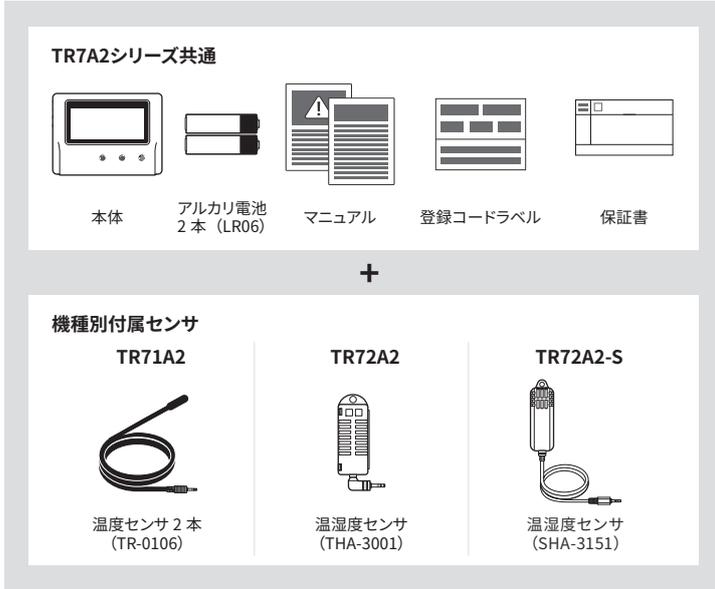
はじめにお読みください

対象製品 TR71A2, TR72A2, TR72A2-S, TR75A2

この度は、当社の製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。

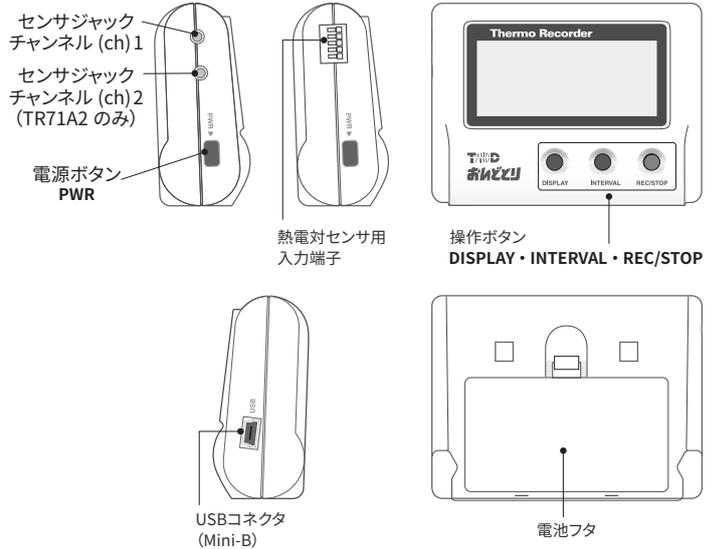
パッケージ内容の確認

ご使用前にパッケージ内容が揃っているかご確認ください。



各部の名称

TR71A2
TR72A2 / 72A2-S TR75A2

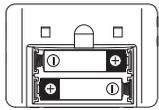


※本体ボタン操作で可能な設定については裏面をご覧ください

機器の準備

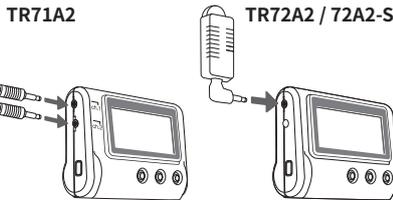
電池セット

電池の向き
2本とも新しい電池をセットしてください (交換時も)



電源を入れた直後の画面
電源を入れた直後は機器のファームウェアバージョンを2秒間表示します。

センサ接続



機器の準備が整ったら

スマート端末またはパソコンに専用のアプリをインストールし、設定を行ってください。

スマート端末用アプリ「T&D Thermo」
<https://www.tandd.co.jp/software/td-thermo.html>



パソコン用ソフトウェア「TR7 for Windows」
<https://www.tandd.co.jp/software/tr7win.html>



設定する内容や手順は以下のURLよりご確認ください。

TR7 シリーズマニュアルサイト
<https://manual.tandd.co.jp/tr7/index.html>



TR7A2 取扱説明書
<https://www.tandd.co.jp/manual/man-users-tr7a2-jpn.pdf>



TR71A2の内蔵センサ

ch1には温度センサが内蔵されており、外付けセンサを接続しない場合は内蔵センサで測定します。

TR75A2の入力端子について

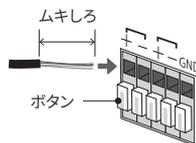
熱電対線の極性 (+) を間違えると実温度が上昇している状態で測定温度が低下していきますので、配線の際にはご注意ください。

電線の差し込み方/抜き方

ドライバなどを使ってボタンを押しながら電線の抜き差しをしてください。むりやり引き抜くことはしないでください。

適合電線

単線：0.32～0.65 mm (AWG 28～22)
撚線：0.08～0.32 mm² (AWG 28～22)
素線径：0.12 mm以上
ムキしろ：9～10 mm



GNDの使い方

USBケーブルを差した状態で、測定値が安定しない場合はGND端子を接地してください。

本体ボタン操作

液晶表示マークの名称については、「TR7 シリーズマニュアルサイト」「TR7A2 取扱説明書」に掲載しています。表面記載の URL よりご確認ください。

電源 ON / OFF
[PWR]ボタン長押し*1*2

記録開始*3
[REC / STOP]ボタン長押し*1
「DATAマーク」点滅後、「RECマーク」点灯で記録開始

記録停止*3
[REC / STOP]ボタン長押し*1
「RECマーク」点滅後、「RECマーク」消灯で記録停止

記録間隔と自動送信間隔の設定値を液晶画面に表示する
[INTERVAL]ボタンを押すごとに「Rec.マーク」（記録間隔）と「Uploadマーク」（自動送信間隔）を交互に表示

記録間隔の設定変更
記録中は設定変更ができないので、記録停止中に操作を行う必要がある*3
[INTERVAL]ボタンを1回押し、「Rec.マーク」表示中に[INTERVAL]ボタン長押し*1
「Rec.マーク」点滅後、設定値点滅。設定値点滅中に[INTERVAL]ボタンを数回押しして記録間隔を変更
設定したい数値に合わせてしばらく放置すると設定が完了

自動送信間隔の設定変更
[INTERVAL]ボタンを2回押し、「Uploadマーク」表示中に[INTERVAL]ボタン長押し*1
「Uploadマーク」点滅後、設定値点滅。設定値点滅中に[INTERVAL]ボタンを数回押しして記録間隔を変更
設定したい数値に合わせてしばらく放置すると設定が完了

データ送信先サーバへの記録データ・設定内容の送信
手動で即時にサーバへデータを送信したい場合に使用
[REC / STOP]ボタンを押す。「無線LANマーク」と「COMマーク」が点滅し、サーバと通信

通信キャンセル
[PWR]ボタンを押す

測定値表示方法の変更
[DISPLAY]ボタンを押すごとに以下のように表示を切り替えます
①Ch1 / Ch2 現在値 → ②Ch1最大値 / 最小値 → ③Ch2最大値 / 最小値 →①～③の巡回表示

TR75A2センサタイプ表示
測定値表示方法で①Ch1 / Ch2 現在値の状態の時に[DISPLAY]ボタン長押し*1

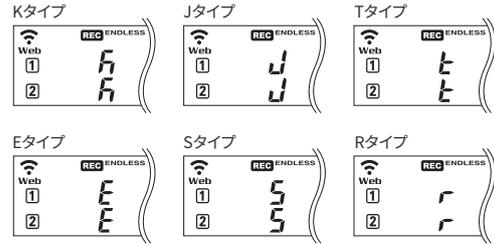
最大値 / 最小値のクリア・「ALMマーク」の消灯
測定値表示方法で②Ch1最大値 / 最小値か③Ch2最大値 / 最小値を表示中に[DISPLAY]ボタン長押し*1
最大値 / 最小値点滅後、最大値 / 最小値がクリアされ「ALMマーク」が消灯*6

WPSでの無線LAN接続設定
利用中のアクセスポイントがWPSに対応しており、セキュリティ設定がWPA/WPA2 PSKである必要がある*4*5
[PWR]ボタン+[DISPLAY]ボタン同時に長押し*1
「WPSマーク」点滅後、点灯
「WPSマーク」点灯時に利用中のアクセスポイントをWPS認証モードに設定
接続に成功すると「無線LANマーク」が点灯、失敗時には点滅

- *1 長押しとは約2秒間ボタンを押し続ける操作のことで。
- *2 記録中は電源をOFFにできません。
- *3 記録を開始すると本体内の記録データはすべて消失します。記録停止後は必要に応じて記録開始前データの吸い上げを行ってください。
- *4 利用中のアクセスポイントの仕様や使い方については、販売元メーカーへお問い合わせください。
- *5 アクセスポイントの仕様により本体操作で無線LAN接続設定ができない場合は、スマート端末用アプリかWindows用ソフトウェアからの設定をお試しください。
- *6 本体ボタン操作では最大値 / 最小値と「ALMマーク」が同時にクリアされます。アプリから操作することで別々にクリアすることも可能です。

熱電対センサタイプの確認 (TR75A2のみ)

Ch1 / Ch2 現在値固定表示の時に、本体にある[DISPLAY]ボタンを長押しすると、各チャンネルに設定されているセンサタイプを表示します。



Ch1 / Ch2で同じセンサタイプを設定している表示例です。それぞれ異なるセンサタイプでもお使いいただけます。

工場出荷時は両チャンネル共にKタイプに設定されています。ご使用になる熱電対の種類に応じて、設定/変更を行ってください。センサタイプはパソコン用ソフトウェア「TR7 for Windows」、モバイルアプリ「T&D Thermo」、またはクラウドサービス「おんどとり Web Storage」で変更できます。各設定方法の詳細は以下URLよりご確認ください。

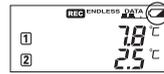
TR7 シリーズマニュアルサイト
<https://manual.tandd.co.jp/tr7/index.html>



電池残量がなくなった時に記録データを守る方法

TR7A2シリーズは電源を消失してもデータを保護しますが、電池残量警告マークが表示されたら、なるべく早めに新しい電池に交換してください。

- 1 電池交換の時期になると、電池残量警告マークが表示されます。



点滅：電池残量が少なくなると表示

点灯：電池残量が更に少なくなると表示。自動送信動作を停止し、記録は継続。

【電池交換すると】

- ・電池交換前の記録をそのまま継続します。
- ・保持されている記録データを吸い上げることができます。

- 2 電池交換をせずに使用を続けると下図の表示になり、記録を停止します。



【電池交換すると】

- ・記録開始操作するまで記録停止のままです。ただし「おんどとり Web Storage」と通信して記録データのアップロードが成功すれば記録を再開します。
- ・保持されている記録データを吸い上げることができます。記録データを吸い上げまたはサーバにアップロードする前に記録を開始すると、本体内の記録データは全て消失するのでご注意ください。

- 3 さらに電池交換をせず放置すると、液晶表示が消え内蔵時計がリセットされます。



【電池交換すると】

- ・記録開始操作するまで記録停止のままです。ただし「おんどとり Web Storage」と通信して記録データのアップロードが成功すれば、自動的にサーバと時刻合わせをして記録を再開します。
- ・本体内部の時計がリセットされているので、自動送信をOFFにしている場合は、改めて時刻設定が必要です。
- ・保持されている記録データを吸い上げることができます。記録データを吸い上げまたはサーバにアップロードする前に記録を開始すると、本体内の記録データは全て消失するのでご注意ください。

本体ボタン操作方法の詳細については Web サイトで公開しています。
<https://manual.tandd.co.jp/tr7/button/index.html>

